

## ○テタノブリン-IH 静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン (U) human anti-tetanus immunoglobulin 【分類】 乾燥ポリエチレングリコール処理 抗破傷風人免疫グロブリン

【単位】 ○250 単位/V

【常用量】 破傷風の発症予防をするとき 1 回 250 単位, 重症な外傷例には 1500 単位, 破傷風の治療用には 1500~3000 単位, 重症には 3000~4500 単位

【用法】 静注

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【その他の報告】 腎機能を悪化させるおそれがあるため慎重投与 (1)

【特徴】 血中に遊離している破傷風毒素を中和させる。静注用なので速やかに血中抗毒素価を高めることができ、破傷風の予防・治療に適している。

【主な副作用・毒性】 ショック, 急性腎不全, 過敏症など

【Tmax】 2 日 [im] (U)

【t1/2】 血中生物学的半減期は約 4 週間, 24.5~31.5 日などの報告あり (1) 23 日 (U)

【透析性】 分子量が大きいため、透析では除去されない (5)

【効果持続時間】 破傷風予防のための血中抗毒素価 (0.01 国際単位/mL) を維持する期間は 250 国際単位で 2~3 週間、1500 国際単位で約 7 週間、3000 国際単位で約 9 週間 (1)

【更新日】 20151130

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。